

南海トラフの巨大地震が起こった時の震度分布

震度 6 弱



固定していない家具の一部が移動・転倒
古い木造住宅では壁に亀裂が入ったり建物が傾いたりする。

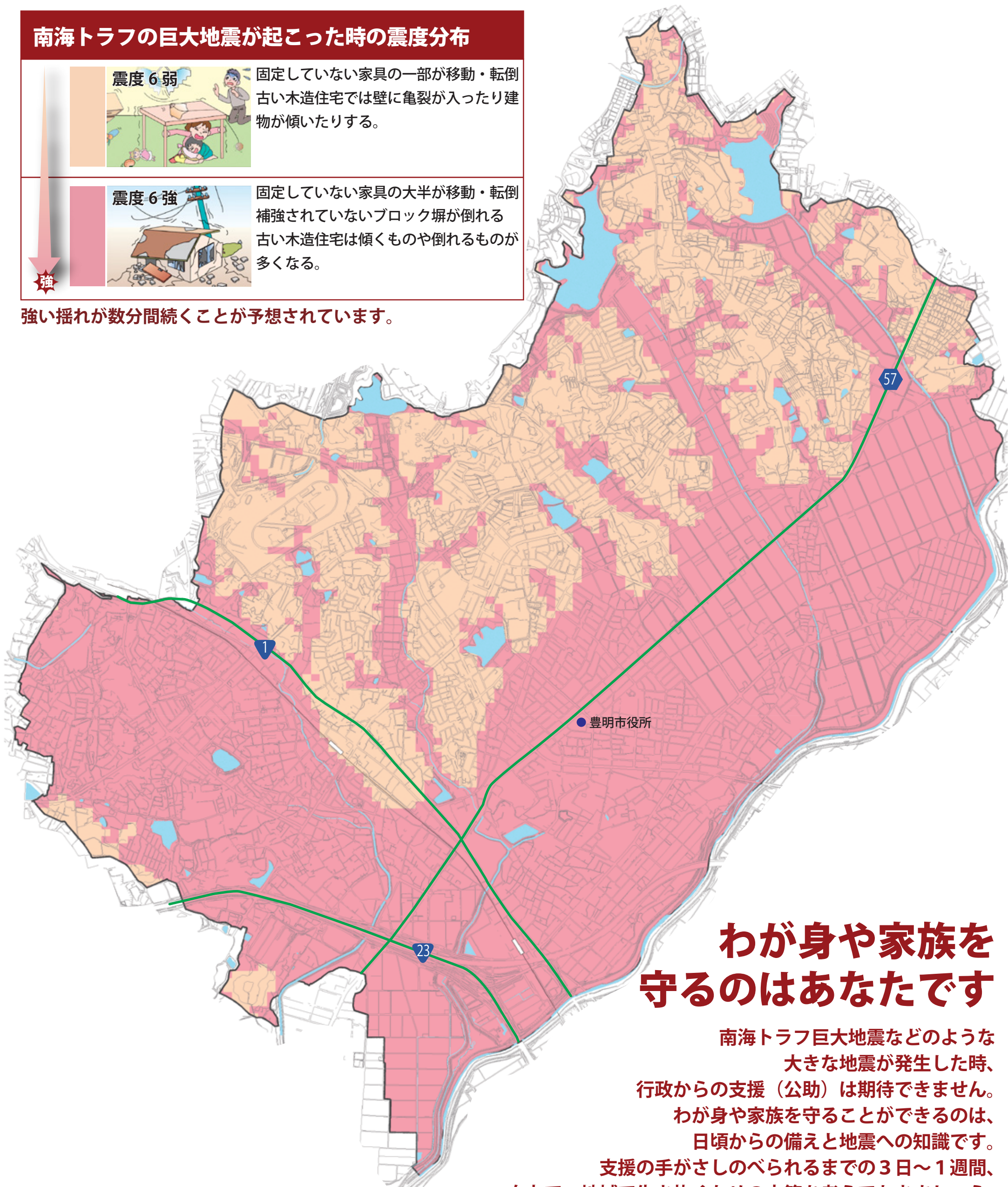
震度 6 強



固定していない家具の大半が移動・転倒
補強されていないブロック塀が倒れる
古い木造住宅は傾くものや倒れるものが多くなる。

強

強い揺れが数分間続くことが予想されています。



わが身や家族を守るのはあなたです

南海トラフ巨大地震などのような
大きな地震が発生した時、
行政からの支援（公助）は期待できません。
わが身や家族を守ることができるのは、
日頃からの備えと地震への知識です。
支援の手がさしのべられるまでの3日～1週間、
自力で、地域で生き抜くための方策を考えておきましょう。

巨大地震に備えるために



豊明市防災マップ

土砂災害ハザードマップ

令和3年4月 豊明市
問合せ先：防災防犯対策課 0562-92-1111（代表）

この地図は、豊明市長の承認を得て、豊明市作成の1/2,500都市計画基本図を複製したものです。承認番号 豊都第329号 令和2年10月5日

南海トラフの 巨大地震が 起こったら



● 2011 年 3 月 11 日 東日本大震災における浦安市の液状化被害
● 2004 年 10 月 23 日 新潟県中越地震による建物や道路の被害

写真提供：首都大学東京 土質研究室

被害の 様子

地震による建物や人への被害は、強い揺れが予想される地域や古い木造建物が分布する地域で大きくなります。

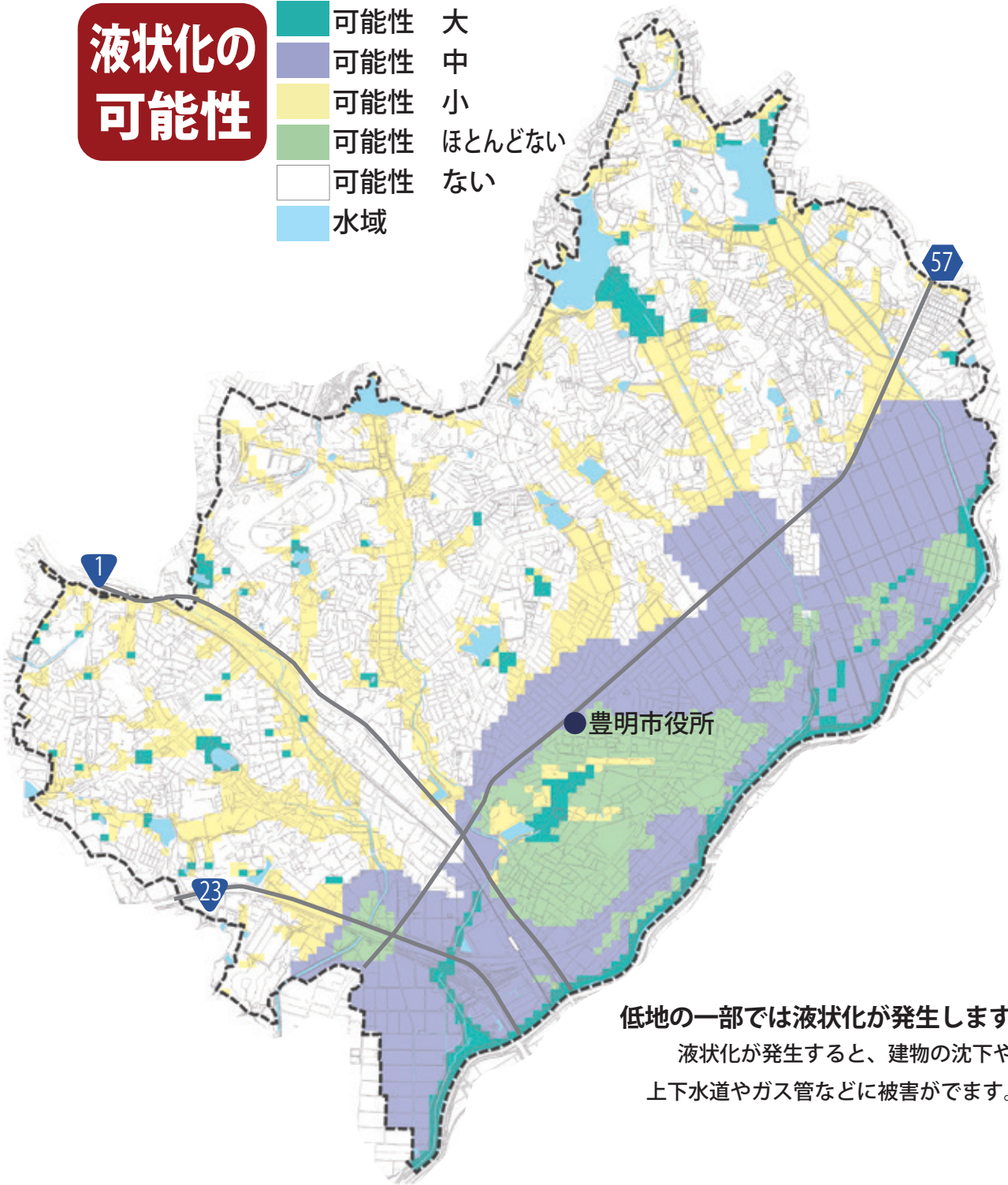
南海トラフの巨大地震による豊明市の被害予測 (愛知県, 平成 25 年)

字 名	地震の揺れによる被害 (棟)		液状化による被害 (棟)	全壊率 (%)	死者数 (人)
	木造 全壊棟数	非木造 全壊棟数			
全市	900		40	5.1	60
沓掛町	98	11	7	4.4	7
新田町	90	15	3	6.2	7
三崎町	69	12	2	5.6	5
大久伝町	33	4	0	6.9	3
阿野町	105	13	9	7.3	8
前後町	49	5	8	4.3	4
栄町	242	23	4	6.3	18
間米町	17	3	0	2.4	1
二村台	21	9	0	2.0	2
新栄町	55	7	6	5.0	4
西川町	14	5	1	2.5	1

火災による建物焼失：約 600 棟

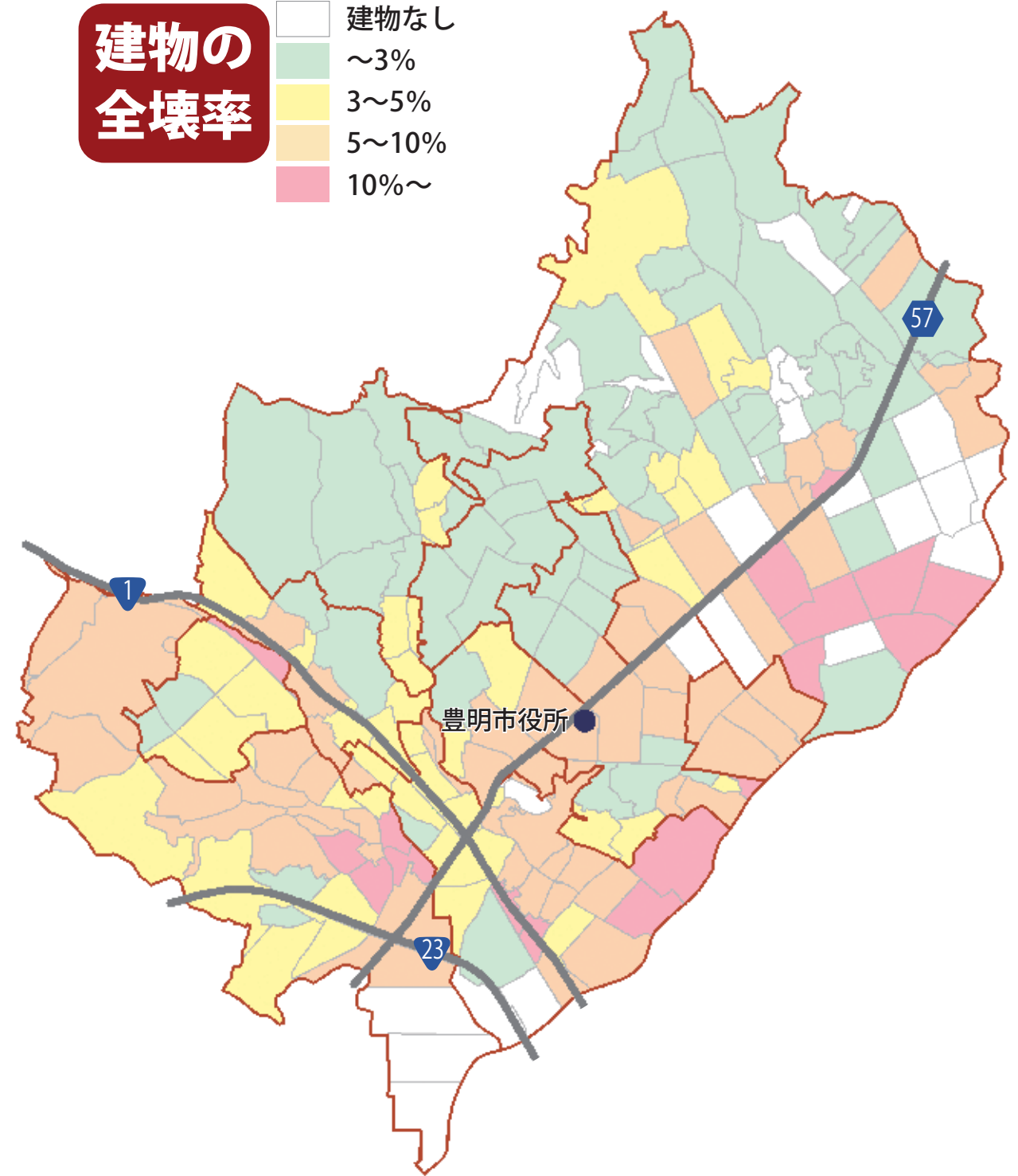
液状化の 可能性

- 可能性 大
- 可能性 中
- 可能性 小
- 可能性 ほとんどない
- 可能性 ない
- 水域



建物の 全壊率

- 建物なし
- ～3%
- 3～5%
- 5～10%
- 10%～



①ぐらっときたら

⚠ まず我が身の安全。ケガをしたら逃げられません

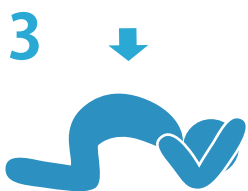
しせいをひくく



あたまをまもり



じっとする



長い間強く揺れますが、必ず揺れはおさまります

地震に備えて

⚠ 広い地域で大きな被害が発生するため、市役所からの支援は期待できません。1週間(最低3日)は自力で乗り切る準備をしましょう

- 缶詰やレトルト食品など、普段から使うものを多めに買い、使ったら買い足しをする「循環備蓄」がお勧めです。
- 日頃から決まった薬を飲んでいいる方は、薬を忘れずに。また、薬の名前を控えておくと、薬が無くなったときに役立ちます。
- 常備薬やおむつ、粉ミルクなど、ご家庭にあった非常持出品を確認しましょう。

非常食



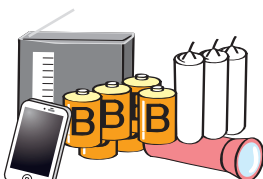
甘いモノは気持ちを落ち着かせます。

貴重品



小銭は常に用意しましょう。

非常用具



手回し式発電機があると便利です。

衣類等



上着は前あきのほうが怪我をした時着やすい。

救急・衛生用品



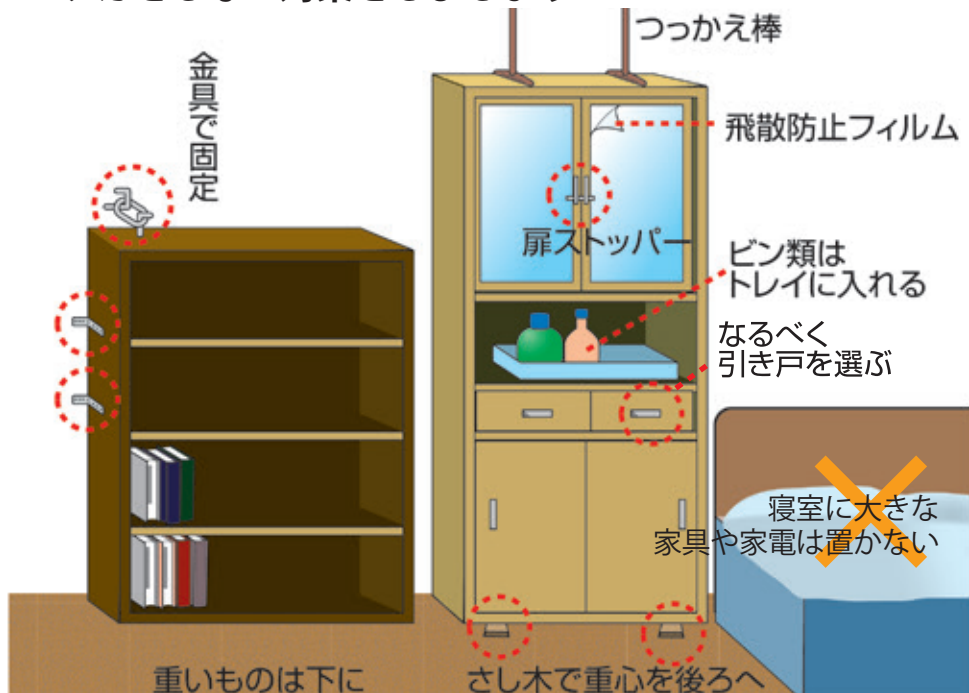
梱包はしっかりと。

その他



勤務先にもしっかりした靴を置いておきましょう。

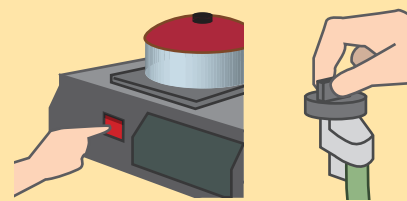
⚠ 地震のあとも自由に動けるよう、ケガをしない対策をしましょう



②揺れがおさまったら

⚠ 靴やスリッパで足を保護し、落ち着いて周りの様子を確認しましょう。

⚠ ガス器具やストーブなどの火を消しましょう。



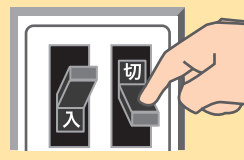
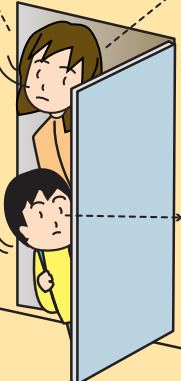
⚠ 玄関などの脱出口を確保しましょう。

⚠ 隣近所の安否を確認しましょう。

⚠ 自宅にいてに危険を感じたら、避難所等安全な所に避難しましょう。

⚠ 避難するときは、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをきりましょう。

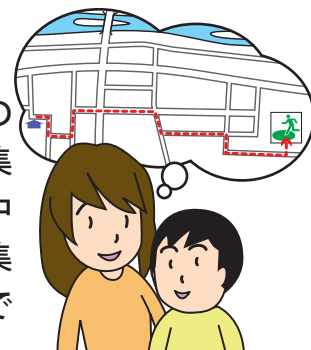
よく観察！



避難施設の種類

広域避難場所：地震に伴う広範囲の延焼火災から生命を守るための場所です。

一時避難場所：災害発生時に周囲の皆さんの安全確認をしたり、避難所に向かうために集合をしたりする場所です。地域の公園や小中学校の校庭を指定しています。各自治会で集合のルールなどを決めておくと、自治会内での安否確認に役立ちます。



避難所：災害によって、住まいを失った方などが生活するための場所です。

!!!!!! 注 !!!!!!!

避難所では、食料などの備蓄を行っていますが、大規模な災害に対応できるだけの十分な量はありません。避難の際には、各自で簡単に食べられる食料や水をお持ち下さい。

福祉避難所：介護の必要な高齢者や障がい者など一般の避難所では生活に支障を来す方を対象とした避難所です。

災害時、緊急輸送道路を使うために

県や市では、災害時に必要な救助、消防活動および緊急物資を運ぶための道路を緊急輸送道路として指定しています。豊明市では、建物が倒れて緊急輸送道路をふさがないように、沿道建物の耐震化を推進しています。地図に示した緊急輸送道路沿いに高い建物を持ちの方はお気軽にお問合わせ下さい。(都市計画課：92-1114)

※平成26年度耐震改修促進計画の見直しにより、変更の可能性があります。

東地区

災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生した場合、電話を使って伝言を残すシステムです。

伝言の登録方法

171 にダイヤル

①を選択

自分の電話番号をダイヤルし、案内に従って、伝言を録音。

伝言の再生方法

171 にダイヤル

②を選択

確認したい相手の電話番号をダイヤルし、伝言を再生。

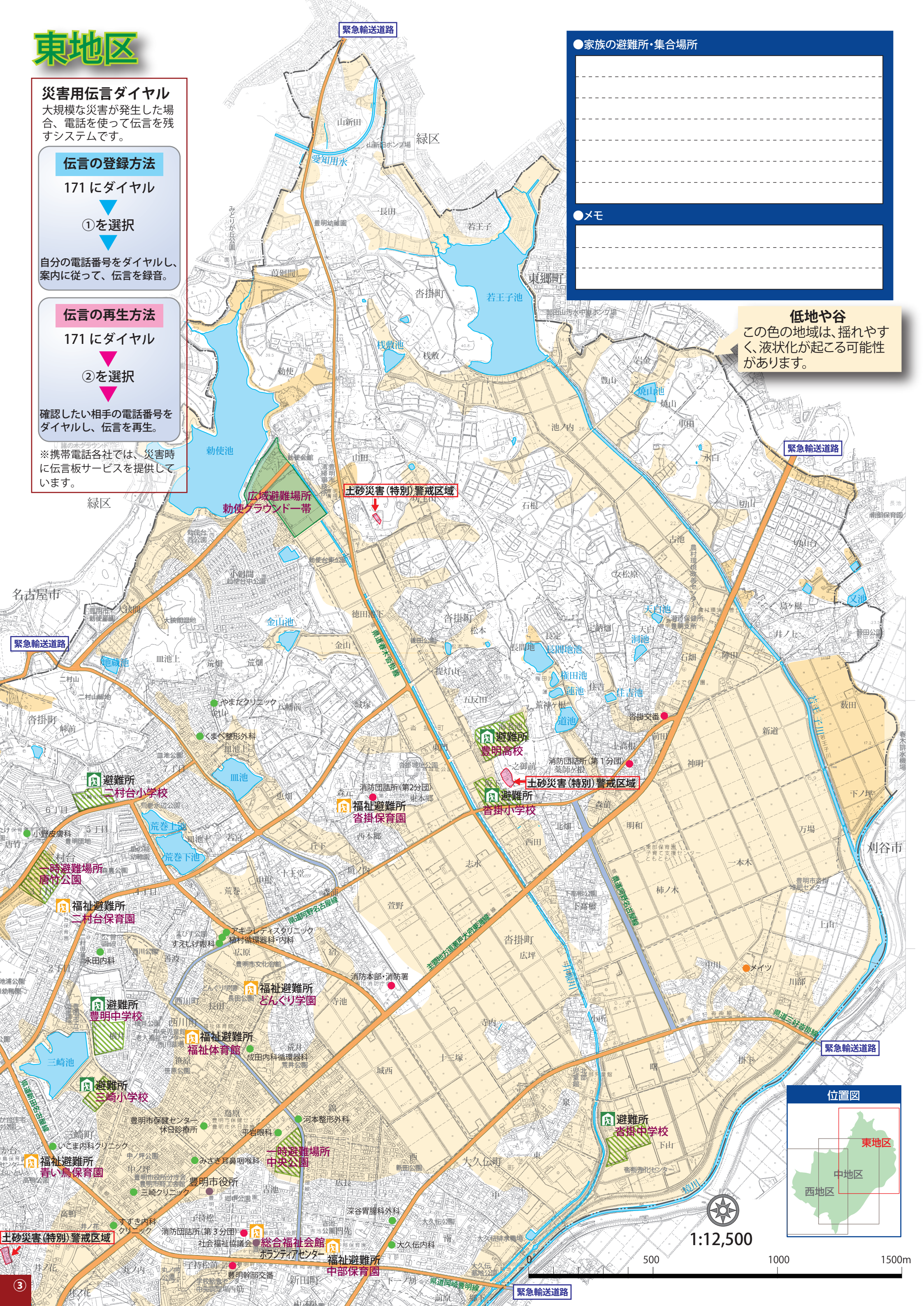
※携帯電話各社では、災害時に伝言板サービスを提供しています。

●家族の避難所・集合場所

●メモ

低地や谷

この色の地域は、揺れやすく、液状化が起こる可能性があります。



位置図

東地区

中地区

西地区

1:12,500

500

1000

1500m

③

西地区

災害用伝言ダイヤル 大規模な災害が発生した場合、電話を使って伝言を残すシステムです。

伝言の登録方法

171 にダイヤル

①を選択

自分の電話番号をダイヤルし、案内に従って、伝言を録音。

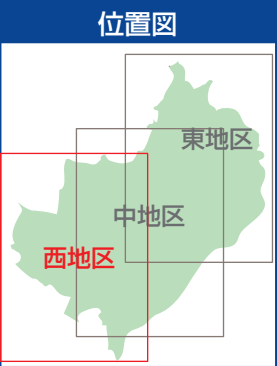
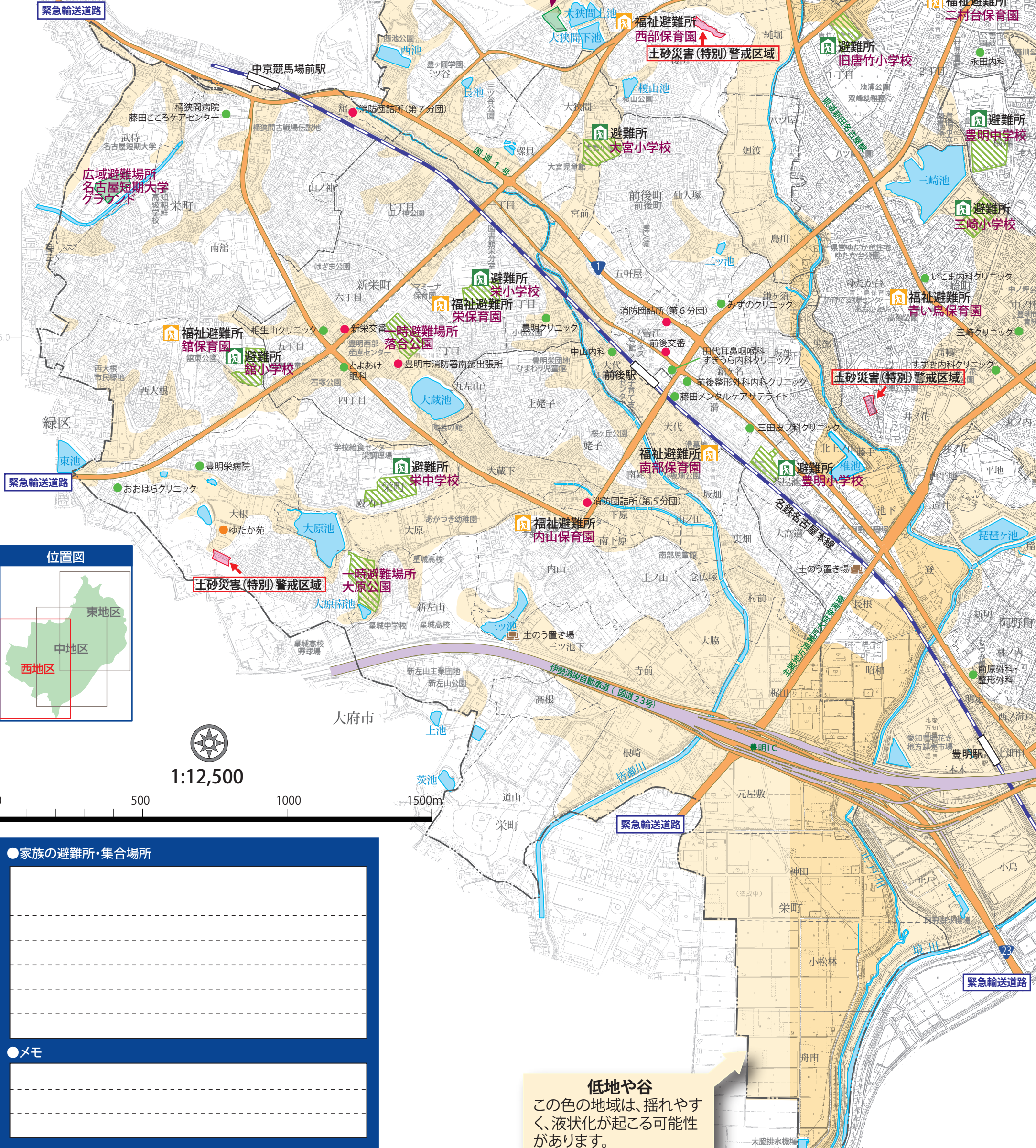
伝言の再生方法

171 にダイヤル

②を選択

確認したい相手の電話番号をダイヤルし、伝言を再生。

※携帯電話各社では、災害時に伝言板サービスを提供しています。



●家族の避難所・集合場所

●メモ

低地や谷
この色の地域は、揺れやすく、液状化が起こる可能性があります。